

令和7年度 岸和田市指定管理者モニタリングチェックシート

1. 基本情報

施設名（所在地）	岸和田だんじり会館（岸和田市本町11番23号）		
指定管理者名	岸和田市観光振興協会		
指定管理料	56,430千円	指定管理期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
公募/非公募	公募	施設所管課名	魅力創造部観光課
施設運営の根拠となる計画等	観光創造ビジョン・岸和田、岸和田だんじり会館条例		

2. 事業報告書の概要

管理業務の実施状況	基本協定書、仕様書等に基づき、適切に施設管理が行われている。設備の点検も適切に実施されており、管理上での問題点等があれば、都度本市と連絡を取り合う体制が整っている。
運営業務の実施状況	基本協定書、仕様書等に基づき、適切に施設運営が行われている。企画提案事業として、彫り師を招いてのワークショップやだんじり関連グッズ製作教室等の体験型イベント、小学生を対象としただんじり絵画コンクールを実施し、だんじり文化の内外へのPRや、だんじり文化を継承する次世代の育成に努めた。自主事業では、各種だんじり関連グッズの販売や大型クルーズ客船寄港地ツアーの企画・受入等、だんじり文化のPRを行っている。
施設の利用状況	利用者数推移（3か年度分記入してください。）
	R5：36,843人 R6：39,379人 R7：39,743人
	入場料収入等推移（3か年度分記入してください。）
	R5：9,200,100円 R6：9,850,800円 R7：9,893,600円
	上記推移の理由等
	令和5年度はマスクの着用が個人の判断によるところまで緩和されたことや、鳴り物体験の復活もあり、小中学生や家族連れを中心に利用が増加したところ、令和6年度はインバウンド観光客もコロナ禍前を超える水準まで増加した。令和7年度は万博関連プロモーションや大阪デスティネーションキャンペーンを受けた来阪者増の影響もあり、利用者数はさらに微増、コロナ後最高を更新した。英語圏の来訪者も増加傾向にある。

3. モニタリングチェック

総合評価	個別評価・理由・意見等	
A1	1 履行確認	
	A1	特に問題なく指定管理業務が履行されている。
	2 サービス水準の確認	
	A1	適切なサービス水準が保たれている。
	3 事業収支の確認	
	A	適切な予算執行がなされている。
総合評価理由・意見等		
コロナ終息後、国内旅行者やインバウンド観光客の増加を受け、年々利用者数は右肩上がりとなっている。令和6年3月には館内リニューアルも実施しており、万博関連プロモーションや大阪デスティネーションキャンペーンによる誘客効果も活用し、集客につながった。		

4. 今後の方向性

業務実績を振り返り、今年度どのような取組みを実施する予定か（今年度の事業計画書等に反映された点）。	関西万博の開催により、世界に対する「大阪」の知名度が確実に向上したこのタイミングを好機と捉え、府域周遊を念頭に更なる来場者数の増加を目指し、施設のPR、地域や城周辺観光関連団体等との連携を通じ、健全で持続可能な施設運営体制の堅持に務める。
---	---